



英語のジョーク宅配便

Vol. 92 January 9, 2012

OUR MISSION STATEMENT

「人を知る最善の方法は、苦しい仕事を一緒にすることと、ジョークを言うこと」と言います。これを「英語で発信」というのが本紙の使命で、受動から能動への一歩です。

「英語のジョークを楽しむ会」が活動領域をさらに広げようという試みです。

地球の一体化が益々進む時代、「英語でジョークを」は、新しい意義を加えるでしょう。

英語のジョークを楽しむ会 代表・宮本倫好

- 本紙は、原則として、毎週月曜日に配信します。
- 執筆者は右の五名の本会会員です。相原悦夫、岡田茂富、田村公雄、土屋政雄、豊田一男

□ ■ 本日のお届け品：どんなにいいことでもケチをつける理由があります

If my critics saw me walking over the Thames
they would say it was because I couldn't swim.

Margaret Thatcher



【和訳】

私がテムズ川の水面を歩いているのを見ても、批評家ってのは、泳げないのだから仕方ないのだと批評するだろう。

【笑いのツボ】

次のもサッチャー女史のことばです。

It may be the cock that crows, but it is the hen that lays the eggs.

(雄鶏はケッコーと鳴くかもしれませんが、卵を産むのは雌鶏なのよ)

結局、女性はことばだけでは満足しません。

- 今回の担当は、岡田茂富でした。

明けましておめでとうございます。今年も大いに英語のジョークで笑いましょう。